

2012・12・11 開会

第4回 町議会定例会



平成二十四年第四回町議会定例会が、十二月十一日に開会され、十四日に閉会しました。

この町議会定例会では、白井町長の行政報告のあと、一般質問のほか、条例の制定や一部改正、一般会計補正予算など、議案十件、承認二件、同意一件、発議五件について審議しました。おもな内容については、次のとおりです。

千円となりました。

補正のおもなものは、歳入が道補助金、財政調整繰入金の追加など、歳出が病院事業会計繰入金、豊津分収林搬出間伐費用などの追加です。

◆国民健康保険特別会計補正予算 (第三号)

歳入歳出それぞれ七万七千円が追加され、予算総額十一億八百六十九千円となりました。

◆介護保険特別会計補正予算 (第二号)

歳入歳出それぞれ十五万二千円が追加され、予算総額七億一千八十八万七千円となりました。

◆公共下水道事業特別会計補正予算 (第一号)

歳入歳出それぞれ四百二十万円が追加され、予算総額三億一千五百万円となりました。

◆ガス事業会計補正予算 (第一号)

収益的支出を二百十万九千円減額し、収益的支出の予算総額一億七千六百三十三万七千円となりました。

◆水道事業会計補正予算 (第一号)

収益的収入に六百二万五千円が追加され、収益的収入の予算総額一億四千七百四十八万三千円となりました。

また、収益的支出に七十九万五千円が追加され、収益的支出の予算総額一億四千三百十八万三千円となりました。

◆病院事業会計補正予算 (第一号)

収益的収入に百万円が追加され、収益的収入の予算総額六億八千四百九十九万九千円となりました。

◆意見書 (可決)

◎「安心できる介護制度の実現を求める」意見書

◎防災・減災体制再構築推進基本法 (防災・減災ニューデール基本法) の制定を求める意見書

◎次代を担う若者世代支援策を求める意見書

◎メタンハイドレートの実用化を求める意見書

◆意見書 (否決)

◎北海道電力泊原子力発電所一・二号機の稼働をゼロにするよう求める意見書

◆教育委員会委員の任命

任期満了となる教育委員会委員に再度、村上 学氏の任命が同意されました。

◆一般会計補正予算 (第十号・第十一号)

(専決処分)

歳入歳出それぞれ七百十万円が追加され、予算総額四十四億三百四十一万一千円となりました。

補正のおもなものは、歳入

が国庫支出金、財政調整基金繰入金の追加、歳出が第四十六回衆議院議員総選挙にかかる費用、強風被害による豊津会館敷地内倒木処理費用の追

加で、地方自治法第一百七十九条第一項の規定により専決処分したものです。

◆町が設置する一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格を定める条例

地域主権改革一括法により、町が一般廃棄物処理するために設置する一般廃棄物処理施設に置く技術管理者の資格に関する規定について条例が定められました。

◆町水道技術管理者の資格基準等に関する条例

地域主権改革一括法により、水道法が一部改正され、これ

◆町火災予防条例の一部を改正する条例

まで法令で規定されていた水道技術管理者の資格基準等について規定する条例が定められました。

◆一般会計補正予算 (第十二号)

歳入歳出それぞれ一億三百六十五万二千円が追加され、予算総額四十五億七百六十三

白井町長の 行政報告

=平成24年12月11日=

第四回町議会定例会にあたり、この一年間町政各般にわたり、議員各位から賜りました温かいご指導・ご協力に對しまして、心から感謝とお礼を申し上げます。

十二月四日に衆議院議員総選挙が公示され、ＴＰＰ協定やエネルギー政策、社会保障、経済・財政、外交・安全保障等を争点に選挙戦が展開されており、投票後の政権運営等を注視して参りたいと考えております。

また、財政状況は依然として厳しいものがありますが、計画させていただきました各種施策や事業等は、みなさん

路や河川などの付け替え等に関して、鉄道・運輸機構と町が、具体的に協議をしていく予定となっております。

各種新幹線関連計画や事業の検討なども含め、新幹線を核としたまちづくりを継続して進めて参ります。

企業誘致関係

九月上旬に農場建設に着手したインターファーム株式会社は、現在、多少の遅れはありますが、十二月末の豚舎完成を目指し工事を進めております。農場全体の完成は、来年二月の予定となっております。

また、宇宙開発事業で使用するロケットの精密部品等を、字大浜の工場で生産している北海道イーグル株式会社が、海岸付近の立地であることから、製品の塩害による腐食等の懸念があるとして、町内に移転先を求めておりました。調査の結果、字富野八十三番一を適地としたことから、現在、売買契約締結に向けて手続きを進めております。

のご理解とご協力のもと、順調に進めさせていただいております。

改めて感謝申し上げますとともに、引き続き、本年度の残された行政課題の解決に努めて参りますので、一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、行政の執行等について、ご報告いたします。

災害および 防災対策

九月二十五日夕方の豪雨による被害状況は、住家の床上浸水二件、床下浸水が十七件、非住家の浸水が十七件あり、翌日、対象世帯のトイレ汲み取り、住宅周辺の消毒作業を実施いたしました。

また、海洋气象台が竜巻と発表した突風により、花岡地区の国道五号でトラック三台が横転し、ＪＲの特急列車が倒木により停車、また、ゴルフ練習場建物では屋根が飛ばされたり、コンクリート製の柱が折れるなどの被害が発生いたしました。

十一月二十七日未明からの

暴風雪により、町内各所で倒木があり、町道をふさぐなどの被害がありました。直ちに倒木を撤去し、町道の復旧を図っております。

また、豊津会館では、敷地内のトドの太木が倒れ、屋根を直撃いたしました。この会館は、町内会管理ではありませんが、町が災害時の避難場所に指定しており、加えて、地域の行事等に活用されていることから、応急の措置として、倒木の撤去を行っております。

なお、これらの災害では、幸い人身に関する被害はありませんでした。



津波対策では、北海道が公表した太平洋沿岸の津波浸水予測図をもとに、現在、長万部町域の津波ハザードマップの作成作業を進めており、完成次第、全世帯に配布をいたします。

また、九月、十月には、町内の災害時避難施設に海拔表示板を設置し、併せて、経年劣化した避難場所表示板の取り替えを行っております。

今年度の防災訓練は、津波襲来を想定し、十月十五日に国縫地区で実施いたしました。地域のみなさんに加え、国縫小学校児童も参加し、徒歩による高台までの避難訓練を行い、短時間での避難を完了いたしました。

今後とも、「自助、共助、公助」を合言葉に、災害に強い安全・安心なまちづくりを推進して参ります。

北海道 新幹線関係

北海道新幹線新函館（仮称）・札幌間の建設工事は、六月に着工認可され、着々と準備が進められております。



鉄道・運輸機構主催による北海道新幹線事業概要地元説明会が、十月二十三日から三日間にわたり、国縫振興会館、静狩振興会館、学習文化センターで開催され、約百名のみなさんが出席されました。

この説明会では、北海道新幹線建設工事全般の概要や事業の進め方などが説明されました。

今後の作業として、新幹線ルートを中心に杭を打つ中心線測量が、今年度から来年度にかけて実施される予定であります。

また、新幹線と交差する道

インフルエンザ 予防接種

高齢者インフルエンザ予防接種は、十二月六日までに七百七十七名の方から申請がありました。

インフルエンザ流行の兆しがあることから、うがいや手洗い、手指消毒、外出時のマスク着用等の励行を促し、予防の徹底を図って参ります。

また、ノロウイルスやロタウイルスによる感染症にも備え、インフルエンザ予防と同様に、うがいや手洗い等の励行を勧めて参ります。

高齢者 福祉関係

地域敬老会は、八月二十一日を皮切りに二十五地域二十三会場で実施されました。対象者一千二百九十八人に対し、六百七十六人の出席をいただき、出席率は約五十二・一パーセントとなっております。

各会場とも、町内会等のみなさんによる特色ある料理や趣向を凝らした催しなどによ



生活環境関係

九月十四日に葬斎場の一号炉が故障し、また、十月十二日には二号炉が故障いたしました。一、二号炉が十月二十六日、二、二号炉は十一月八日にそれぞれ修理が完了しております。

葬斎場は、建設されてから三十五年が経過し老朽化が進んでおりますが、支障のないよう万全を期して参ります。

町民のみなさんのご協力のもと、本年四月から十月までの渡島廃棄物処理広域連合の焼却施設に排出した長万部町の可燃ごみの量は約一千百十三トンで、前年同期と比較し約四トンほど増加しております。

また、ごみの減量化の一つとして実施した衣類の無料回収は、長万部町地域女性団体連絡協議会のご協力をいただき五月・七月・十一月に行い三百二十二キログラムの衣類を回収いたしました。

今回は、来年二月を予定しております。

廃食用油の無料回収は、役

農業関係

家畜の主たる飼料作物であります牧草やサイレージ用トウモロコシの生育状況は、十月十五日の調査では、おおむね平年並みの収量となっております。

生乳生産量は、四月から十月まで六千四百八トンを出荷し、前年に比べ〇・八パーセントの増となっております。

また、乳代は五億百八十万九千円で、前年に比べ四・一パーセントの増となっております。

黒毛和牛の四月から十月までの販売頭数は百八十四頭、販売金額は七千三百九十四万一千円となっており、前年同期と比較して販売頭数で三十三頭の減、販売金額でも二百

七十万九千円の減となっております。

牧野関係は、生産コストの低減と酪農経営安定のため公共牧場運営事業を実施しておりますが、今年は平年と比べ雪融けが遅く、入牧は、十日程遅い五月十四日から順次開始し、十月二十六日に下牧が完了しております。

この間の入牧延べ頭数は六万七千六百十三頭で、前年に比べ九・八パーセントの減となっております。

平成二十年度から五か年計画で実施しております道営草地整備改良事業は、十月三十一日に全工事が完了し、各受益農家に引き渡されております。

林業関係

町有林一般造林事業は、豊津地区で除伐二三・五一ヘクタールを実施し、十一月十二日に完了しております。

また、共立地区の地拵・植栽事業は五・〇〇ヘクタールを実施し、同じく十一月十二日に完了しております。

森林整備加速化・林業再生事業の補助対象として採択された林業専用道平里線開設工事四百四十メートルは、十二月下旬の完成予定で着手しております。

森林農地整備センター分収造林事業は、豊津（二）契約地の準備地拵事業五・〇〇ヘクタールを、同じく十二月下旬の完成予定で着手しております。

なお、冬季に施業予定をしておりました豊津契約地の除間伐事業は、事業内容の一部変更が承認されましたので、追加分の事業費について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

緊急雇用創出推進事業補助金対象の町有林作業道保全整備事業は、十月十五日に完了しております。

地域づくり総合交付金対象事業の双葉共立線林道の路面改良工事は、十二月下旬の完成予定で着手しております。道営事業の森林基幹道豊津・黒岩線の本年度の林道整備事業は、橋台を含む車道整備延長五十メートルを十一月二十日に完了しております。

また、北海道が事業主体で

実施しております町有林「とみの森」共生保安林整備事業は、植栽や本数調整伐等の林相改良事業並びに管理歩道周辺の整備と護岸工事に着手し、来年一月下旬の完成予定で進められております

漁業関係

本町のホタテ貝養殖漁業における十一月末現在の種苗生育状況は、町単独事業のホタテ種苗緊急対策事業で管外から移入された種苗状況は、へい死・変形等が少なく、比較的良好に推移しており、渡島の良好に推移しており、渡島北部地区水産技術普及指導所による調査結果では、へい死が最も多い時期も無事乗り越えたとのことであります。

しかし、種苗の成長速度が昨年同様若干遅くなっており、成長にばらつきも目立ちますので、耳吊り作業が開始される来年二月頃まで、引き続き、各関係機関が連携し、調査を行う予定となっております。

これからホタテ貝出荷の最盛期を迎える時期になります。が、水産廃棄物リサイクル施

設の管理運営は、長万部漁業協同組合と加工業者の協力により、現在は全量処理を行っております。

一方では、ボイラーの増設や燃料費高騰などにより、費用面が増加してきている現状もあります。

そのような中、水産廃棄物リサイクル施設管理運営基金は、このままの状況で推移しますと、約二年程度で積立金が枯渇する見通しであり、また、水産副産物処理施設整備基本計画に基づく最終処理場に対する補助事業等の採択は、難しい状況が続いていることから、十一月三十日に渡島総合振興局に向き、現時点での国や北海道からの支援をいた、だけの補助金等のメニューの有無について協議をして参りました。

その結果、北海道が支援できる補助事業等はなく、国においても厳しい状況で、事業主体が市町村である場合、補助事業等の採択は、非常にハードルが高く、限りなくゼロに近い状況であると説明を受けて参りました。その理由の一つには、やはり、国の事業費予算は、最優先として、東日

者生活知識の啓発に努めて参ります。

建設事業

建築事業では、国の社会資本整備総合交付金事業で実施しております福祉センター・ファミリースポーツセンター・青少年会館・国縫小学校屋内体育館の耐震診断業務は、来年三月十五日までの委託期間で発注しております。

長万部小学校高圧受電設備改修工事は、来年一月十八日の工期で施工中であります。

その他、町営住宅等の修繕工事は、計画どおり実施しております。

次に、土木事業では、国の社会資本整備総合交付金事業で実施しております静狩地区の函水橋修繕工事は、十二月二十八日の工期で施工中であります。

単独事業の町道新開十三号線道路改良舗装工事は、十月三十日に完了しており、その他、町道補修工事等も計画どおりに実施しております。

また、除雪事業は、十一月

本大震災の被災地復興に充てられているとのことでありました。

このため町、長万部漁業協同組合、加工業者の三者からなるリサイクル施設運営協議会を開催し、リサイクル施設が安定的に稼働している現状を踏まえ、今後の方向性を見い出したいと考えております。本年の秋鮭漁は、十一月二十一日現在、漁獲量は約二百九十四トンで、前年に比べ約百七十三トンの減となっております。漁獲金額も約一億二千九十万円で、前年に比べ約八千八百二十万円の減少となっております。

昨年、函館建設管理部八雲出張所が行った水産物供給基盤機能保全に関する漁港点検で、静狩漁港の岸壁等の主要骨格部の腐食が目視確認され、現在、北海道が事業主体となり、来年二月末までの期間で、腐食の程度等を詳しく調査しております。

また、以前から北海道に対し要望しておりました長万部漁港内排水機能の改善では、平成二十四年度の「強い水産業づくり交付金事業」として、北海道が国の採択を受け、現



十九日に協同組合長万部町建設協会と委託契約し、町道や公共施設の除雪作業を実施しております。

公園事業では、今年度の長万部公園キャンプ場利用状況は、キャンプ場利用者一千百七人で、昨年に比べ三・四パーセントの増となっております。バンガロー利用棟数は二百三十一棟で、昨年に比べ七・六パーセントの減となっております。

また、あやめ公園パークゴルフ場利用者は七千八百四十二人で、昨年に比べ四・三パーセントの増となっております。

在、十二月末完成に向け、排水溝の入れ替え等、延長約九百九十四メートルを施工しており、その工事費の一部が地元負担となることから、本定例会に補正予算を提案いたしております。

商工観光関係

中小企業を取り巻く経済状況は、夏季からの緩やかな持ち直し傾向から、現在は、おおむね横ばいで推移しており

ますが、雇用や経営に関しては、依然として厳しい状況が続いております。中小企業の健全なる育成と経営安定のため、中小企業に対する国の様々な金融支援に対し、関係機関と連携し、町が窓口となり認定等を行っております。

次に、本年度の上期観光客入り込み数は、五月の大型連休に発生した二股ラジウム温泉に通ずる道道の崩落事故により落ち込みを見せましたが、毛がにまつりや各種イベント等の開催により、四月から八月までは前年度を上回る状況となっております。しかし、九月に入り領土問題の影響と思われる外国人団体観光客の大幅な減少もあり、前年同月に比べると三十三・八パーセント減少し、上期全体としては、前年度に比べ〇・七パーセント減少の約三十一万六千七百人となっております。



今後、ますます巧妙化される手口への対応が必要とされる中、町広報紙による消費者の安全確保に関する情報周知を行い、併せて、地区老人クラブ等での「消費者生活安全講習会」の開催を通じ、消費

ガス事業

ガス支管改良工事の第三工区（曙町）、第四工区（大町）は、十月三十一日に、第一工区（本町）、第五工区（陣屋町）は、十二月十日に完了しております。

水道事業

国縫ポンプ場送水ポンプ取替工事及び残留塩素計設置工事は九月二十八日に、静狩地区二号水管橋補修工事は、十月三十一日にそれぞれ完了しております。

消防関係

十月十五日から三十一日までの秋の全道火災予防運動期間中、火災から尊い生命や財産を守るため、家庭への防火点検と不特定多数の者が出入りする建物への査察を実施し、消防用設備の維持管理と避難



誘導等の防火管理体制について検査を行いました。

また、女性消防団員による火災予防運動に伴う街頭啓発や保育園児への防火教育、独居高齢者世帯の防火点検等を行い、火災の予防に努めて参りました。

全ての住宅に設置が義務付けられました住宅用火災警報器は、複数設置が必要な世帯もあることから、防火点検時の指導や町広報紙での啓発をして参りました。今後も更なる啓発活動を推進して参ります。

今年の火災発生状況は、十一月末現在で建物火災が三件発生しております。

救急業務は、今年一月から十一月末現在までの救急出動件数三百十五件、搬送人員三百十三人と昨年同期と比較し、出動件数で十二件、搬送人員で十四人と共に増加しております。

また、救急業務における高度化と処置拡大に対処するため、現在一名の職員を救命士養成所へ派遣し、計画的に救命士の養成を行っております。

終わりに、本定例会に提案した議案は、条例の制定、条例の一部改正、各会計補正予算など、合わせて十三件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。



水道・水洗トイレ・ガス湯沸器などの

凍結にご注意を！

いよいよ厳冬期に入りますが、ついとうっかり水道などを凍らせてしまうお宅が増える季節です。

凍結防止のため、これからは外出やおやすみ前には、水抜きをする習慣をつけるようにしましょう。

凍結防止対策は

■水道

じゃ口を開いて水抜栓で水落としをする。

■水洗トイレ

長期不在にするときは、貯水タンクなどの水を落とし、便器に不凍液を入れてください。

■ガス湯沸器・ガス風呂釜（シャワー付き）

水道の水抜栓で水落としをし、ガス器具の水抜栓・水栓ハンドルを開いて水を抜く。

＝年末年始中に凍結した場合は、次のところへ連絡してください＝

- 1月1日(火) ㈱ 佐々木配管 ☎ 2-3142
- 1月2日(水) 黒 沢 設 備 ☎ 2-4824
- 1月3日(木) ㈱ 光設備サービス ☎ 2-3937
- 1月4日(金) ㈹ 新開配管工業 ☎ 2-3252
- 1月5日(土) 川 瀬 配 管 ☎ 2-4890

上記期間以外は下記へ

指定給水装置工事事業者

- ㈱ 佐々木配管
- 川 瀬 配 管
- ㈹ 新開配管工業
- 黒 沢 設 備
- ㈱ 光設備サービス

※ 1月6日(日)からは通常の業務体制になります



お問い合わせ先

水道ガス課 (☎ 2-2862)